

北ノ又山スキー報告書

穂積

12月5日 曇り 朝のうちのみに時々晴れ

650飛越トンネルST 1200避難小屋デポ 1315 2450m地点引き返し 1430避難小屋

12月6日 曇り

630ST 1000飛越トンネル

ぼくが時計を忘れたため、時間記録は少しだけです。

・ 行動の記録

朝のうちは雲は多いがたまに日も差し込む。遠くから見た、北ノ又西面斜面はとてもおいしそう。

旧道出合い、1840mからはスキーがはけた。寺地山からの下りはシールを付けたまま。樹林を抜けるまで、ずっと湿った重い雪。ラッセルはくるぶし程度で特に苦しくはない。樹林を抜けると雪は固くなり、2150m位までは夏道がうっすら出ている。避難小屋はすぐに見つかり、いらぬものをデポシアタックに出る。北ノ又ピークはほとんど雲がかかっていた。2450m地点でもうこれ以上、上に登ってもスキーは楽しくなさそうだし、それに上はガスって大変だし、もう降りようよ、って話になる。シールをはがして準備していたら、僕らのいるところがガスられてしまった。視界は50m~100m位。穂積トップで下り始める。はじめ、地形の記憶+行き跡のトレースを頼りに下ろうとするが、すぐ分からなくなる。その後、地図を出し、高度計を見つつ、コンパスを切って進む。はじめ、北の方に行き過ぎたらしく、トラバースして戻るのがかったるい。2100m付近で夏道を発見。無事小屋に帰り着く。この北ノ又避難小屋、水も出ていて非常に快適だった。

6日、上部はガスってるようなので、下山を開始。微妙なアップダウンが多く、僕はほとんどシールつけて下った。田中のスキーはシールなしでもある程度の傾斜は登れるようで、シールなしだった。

・ 反省

行く前から地図上でも北ノ又西面の下りの地図読みが難しいことは予想できた。また、登っている時も、そのことは意識していた。しかし、実際に下るときはガスられてしまい、苦労した。一時は、地図上で現在位置があやふやになった。でも、最終的には、コンパス、高度計を使ってもと来た道を当てられたのでよしとする。地図読みのよい練習になった。やはり、スキーの下りの地図読みは難しい。GPSをザックに入れておくと安心だと思った。

今回、それほど体カトレにはならなかった。

・ その他

良い山域だった。雪が多い時にまた行きたい。春になったら、薬師、黒源の方にも行きたいな。